



第 42 回溶接学会東部支部実用溶接講座（見学会 & 講演会）

IIW 資格制度特認コース：J-ANB 認定講座
ISO14731/WES8103 溶接管理技術者資格制度：
再認証審査小委員会認定講座

「鉄道車両製造工場見学と車両製造における最新の溶接技術」

主 催：(社)溶接学会 東部支部
共 催：(社)溶接学会 東部支部-神奈川県地区委員会
協 賛：日本溶接協会、日本機械学会、日本金属学会、日本材料学会、日本鉄鋼協会、日本鋼構造協会、日本ロボット学会、ステンレス協会、軽金属溶接協会、日本非破壊検査協会、腐食防食協会、日本溶接技術センター、日本工業出版、産報出版
(順不同、含依頼中)

趣 旨：

日常の社会生活に欠かせない鉄道車両や自動車などの輸送機器では、ますます軽量化、高性能化などが重要な課題となっている。これらの輸送機器の製造においては、品質確保およびコスト低減などの点から、ステンレス材や合金の溶接技術の研究開発成果が大きく貢献している。本講座では、鉄道車両製造方法について工場見学するとともに、車両製造に適用される溶接・接合方法についての解説、およびステンレス材や合金材に適した溶接方法などに関する最新技術動向を紹介する。

溶接技術に関係する方々はもとより、車両工場を見学できる機会としても、幅広く多くの方のご参加をお願い申し上げます。

開催日時：2014 年 10 月 31 日（金）

開催場所：株式会社総合車両製作所 横浜事業所
(〒236-0043 横浜市金沢区大川 3 番 1 号)

定 員：50 名（先着受付順、定員に達した時点で締め切らせて頂きます。なお、同業他社の方のご参加はご遠慮願います）

参加費：溶接学会員(賛助会員含む)9,000 円、
非会員 13,000 円、学生 4,000 円
(テキスト代・昼食代を含む)

申込締切：平成 26 年 10 月 22 日（水）※参加費振込み締切

申込方法：必要事項（末尾の申込書式参照）を記入の上、電子メール、または FAX で申し込み下さい。申し込み後、返信メールなどで仮参加受付を確認後、以下の銀行に上記参加費を振り込み願います。振り込み確認後、正式な参加受付確定としますので、原則として上記締切日までに振込み願います。（振り込み手数料は各自ご負担願います）

[振込先]

みずほ銀行 大岡山支店（支店番号：145）

普通預金 口座番号：2176706

名義：溶接学会東部支部

申 込 先：東京工業大学大学院 理工学研究科 国際開発工学専攻
高橋研究室 三田尾

e-mail: jwseast@ide.titech.ac.jp

Fax: 03-5734-3915

受講ポイント：

（取得ポイントの詳細につきましては、溶接学会のホームページの会告をご参照願います）

- ① IIW 溶接技術者資格 特認コース履修ポイント
- ② ISO14731/WES8103 溶接管理技術者 再認証クレジットポイント

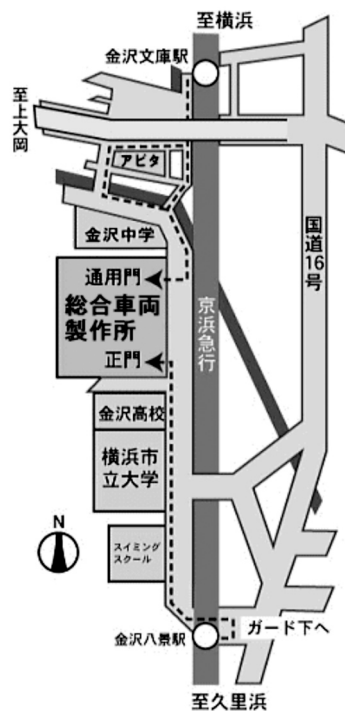
■集合

集合場所：株式会社総合車両製作所 横浜事業所 通用門 付近
(京浜急行 金沢文庫駅 下車 徒歩約 8 分)

集合時刻：9:50

(電車参考)京浜急行 品川駅 8:47(特急・三崎口行)
ー金沢文庫駅 9:34

なお、お車でのご参加はご遠慮ください。



京浜急行 金沢八景駅下車 北へ徒歩7分(正門)
京浜急行 金沢文庫駅下車 南へ徒歩8分(通用門)

プログラム

- (1)10:00～10:10 開会の挨拶（東部支部支部長）
- (2)10:10～11:20 「次世代軽量車両に向けた難燃性 Mg 合金の溶接・接合」

公益財団法人 鉄道総合技術研究所 森 久史 氏

鉄道車両のより一層の省エネルギー化を目標として車両構体の軽量化が強く望まれており、車両構体への難燃性マグネシウム合金の適用が考えられている。本発表では、新幹線電車の構体軽量化に関する技術を振り返りながら、材料及び接合技術について解説する。また、アルミニウム合金製車両の次世代軽量車両の開発に向けて難燃性マグネシウム合金の研究開発に取り組んでおり、その内容について現状と将来課題について紹介する。

- (3)11:20～12:30 「アルミ溶接構造物に観る溶接技術の変遷と今後の課題」

一般社団法人 軽金属溶接協会 笹部 誠二 氏

ここ半世紀におけるアルミの溶接構造物の適用例を、溶接技術の観点からその流れを振り返ると同時に、その現状ならびに今後の課題について紹介する。

(4)12:30～13:30 昼食休憩（お弁当をご用意します。弁当代は参加費に含む）

(5)13:30～14:40 「次世代ステンレス車両の製造ラインの溶接技術」

株式会社総合車両製作所 生産本部 技術部接合技術センター
渥美 健太郎 氏

総合車両製作所(略称：J-TREC)ではこれまで、前身の東急車両製造時代より主力製品であるステンレス車両の開発に力を注いできた。近年、首都圏の通勤車両はステンレス車両とアルミ車両がほとんどを占めている。今後のステンレス車

両市場拡大のためには、ユーザーにとってアルミ車両に勝る付加価値・機能を求められてゆくことが想定される。こういった背景から、2010年度より新しい技術を用いたステンレス車両「sustina®」の開発・試作・製造を行ってきた。本発表では、開発した接合技術等について解説する。

(6)14:40～14:55 休憩

(7)14:55～16:30 株式会社総合車両製作所 横浜事業所 見学会
見学にあたっては制約事項（撮影および触手禁止、携帯電話の携行禁止など）があります。

また、一部が非公開となる場合があります。

(8)16:30～16:50 質疑応答

(9)16:50～17:00 閉会の挨拶（東部支部副支部長）

■申込書式

第42回溶接学会東部支部実用溶接講座（見学会&講演会）申込書

（申込日： 月 日）

●受講者名（漢字&ふりがな）： _____

●会員資格（○をつけて下さい）： ・正会員 ・賛助会員 ・学生 ・非会員

●参加費請求書（○をつけて下さい）： ・要 ・不要

●勤務先／会社名・所属部課名 または通学先／大学名・所属学部学科名

●勤務先／通学先の連絡先

・住 所： _____

・E-mail： _____ 電話： _____ FAX： _____